

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 石川県小松市立蓮代寺小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒923-0843

石川県小松市蓮代寺町八丙の16番地

E-mail e-rendai@kecx.hakusan.ed.jp

Website http://www.hakusan.ed.jp/~rendai-e/

幼児児童生徒数 男子 70名 女子 54名 合計 124名

幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

本校では地域の人材を活かした教育活動を進め、社会科の見学や総合的な学習の時間の体験学習などを積極的に進めてきた。特に地域に伝わる文化の伝承については、地域の住民有志が立ち上げた『再発見村おこし塾「うらら蓮代寺」』の活動と相まった取り組みを行った。また、「木場潟再生プロジェクト」のはたらきかけを受け、4年生を中心に木場潟についての学習を進め、校地内の水生植物園の設置と水草の移植を行うなど、環境学習への取り組みも実施した。

ESDの観点を本校の教育活動に取り入れ「環境理解プロジェクト」と「社会とのつながりプロジェクト」として推進した。環境理解プロジェクトでは学年を追って対象を広げ、教科横断的な側面を持たせた。総合的な学習の時間で求められる課題発見力や解決力、コミュニケーション力、発信するスキルなども重視した。社会とのつながりプロジェクトでは、小規模校の良さを活かすたて割り活動により、まず児童どうしのつながりを強め、地域の先生への質問の仕方のスキルを身に付ける、高齢者や障害を持った方との交流を進めるなど徐々に他者への理解の力が身に着く活動を実践した。

<環境理解プロジェクト>

①省エネ・省資源の取組み（全学年 通年）

児童会環境美化委員会が児童及び保護者、地域に呼びかけ、環境負荷の削減のため以下の取組みを行った。

- ・ペットボトルキャップとアルミ缶の回収を学校で実施した。
- ・学校の電気と水道の月々の使用量をグラフにして掲示し、節電節水を推進した。
- ・裏紙利用や再生可能紙の回収に努め、ごみの減量化を推進した。

※チェック事項1-1、2-1に対応

②環境学習「自然に親しむ」(1・2年 生活科 1～2学期)

校地に隣接する里山を利用し、生き物さがしや生き物の飼育体験、生き物マップづくりなどを行った。また、アサガオ、ヒマワリやサツマイモなどの野菜栽培を行い、観察や日々の世話を通して作物を育てる苦労を体験し、収穫の喜びを味わった。

③環境学習「環境について考えよう」(4年 社会、総合的な学習の時間 1～2学期)

社会科の単元「住みよいくらしをつくる」で学ぶ内容について、総合的な学習の時間の「環境について考えよう」と関連づけ、1学期は木場潟の水質や水草の変化、浄化の取組みについて学習した。2学期はごみの処分について、町内のごみ集積所や登下校で見かけるごみについて調べ学習を行った。調べたことや考えたことを新聞としてまとめ発信した。

④「お山」の活用(全学年 通年)

校地内の小高い山(「お山」)を学習、体力づくり、休み時間の遊びに大いに活用した。環境整備のため親子奉仕作業を行った。また、お山の主な樹木に木の名票がつけられており、樹木名を含めて自然に親しめる状況で活動できた。

<社会とのつながりプロジェクト>

①児童会活動・たて割り活動(全学年 通年)

児童会活動として「全校外遊び」や「入学、卒業を祝う会」「蓮小プレイランド」など全校児童が楽しめ心に残る企画を実行した。また、年間を通してたて割り班6班をつくり、たて割り給食・遊びを行った。いずれの活動も5、6年生が主体となって企画運営を行った。

②地域じまん「たけのこの里」(3年 総合的な学習の時間 1学期)

校区の果樹園や野菜畑について身近な人から聞き取りを行い、各自がテーマをもった。総合的な学習の時間はたけのこの産地である東山の農家の方のお話を聞いたり質問したりして理解を深め、実際にたけのこほりを体験しその苦労を味わった。他の果樹については社会科の見学に合わせて体験や探究活動を行い、学んだことを新聞にまとめた。

③地域に伝わる文化の伝承(4・5年 総合的な学習の時間)

4年生は「がめつき音頭」(農業用水を貯める堤の堤防を補強する作業やその際に歌う民謡と太鼓)を、5年生は「蓮代寺太鼓」(虫送りや豊作を祈り祝う祭礼の太鼓)を地域の先生から学んだ。その歴史的な背景を知ると共に練習を積み上げ、地域の行事や学校に保護者やわがまち防犯隊を招き披露した。

④福祉・共生を学ぶ(6年 総合的な学習の時間、金沢自主プラン)

福祉について調べ学習を行い、視覚や聴覚に障害のある方の話を聞いた。身の回りのバリアフリーを見つけたり、社会見学の際にユニバーサルデザインを探したりした。様々な学習や体験を通して自らの考えを持ち、まわりへ発信できるように壁新聞にまとめた。

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項1-2, 2-1に対応

ア. 活動分野(複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input checked="" type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育(GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

<p>①地域の先生 たけのこ農家、りんご農家、太鼓の指導者、木場潟再生プロジェクトメンバー、うらら蓮代寺メンバー 他</p> <p>②書籍 「こども環境白書」環境省 「地球教室」朝日新聞 「環境ポプラディア情報館」ポプラ社 「世界と日本の水問題」文研出版 「考えよう地球環境 身近なところからエコ活動」金の星社 その他、学校図書室、市立図書館の書籍</p> <p>③ウェブサイト http://kids.yahoo.co.jp/ (ヤフーキッズ)</p>
--

② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

<p>学校管理運営計画に『ESDカレンダー』を掲載し、教科の枠にとらわれず、横断的な学習として環境学習や福祉、伝統芸能の継承に取り組んでいる。</p> <p>担任による指導だけでなく、積極的に外部講師を活用し、専門的な知識も含めながら、講義だけでなく実際に活動することで児童の考え方や力を育成するよう努めている。</p>
--

- ② 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

※チェック事項 1-4 に対応

教育課程に明確に位置づけることで、年間を通して計画的かつ継続的に実践ができています。併せて、校長を中心とし複数体制で指導する機会を増やしたり、外部講師の積極的な活用も心がけている。また、費用の面でも市からの配当予算だけでなく、様々な補助を有効に活用しながら謝礼を含め外部講師の確保に努めている。

- ③ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価(内部/外部)の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。(200字程度)

※チェック事項 1-5 に対応

学校評価において、自己評価(教員・児童)だけでなく学校評議員にも評価していただき、年に複数回の評議員会で意見を伺う場面を設け、それを踏まえたうえで成果と課題を整理し、次年度へ活動につなげている。

- ④ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度)

※チェック事項 2-2 に対応

学校ホームページや学校だより(保護者+地域へ配布)によって活動を発信している。明確な効果は不明であるが、地域に方々に学校・児童の活動をしってもらう良い機会となっている。

- ⑤ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

地域の「うらら蓮代寺」の方や「木場潟公園センター」の方に外部講師を依頼したり、「蓮代寺保育所」との交流活動を実践している。
ネットワークの形成については模索中である。

⑥ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成（200字程度）

※チェック事項 2-4 に対応

特になし。

⑦ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項 2-5 に対応

特筆事項なし。

(3) 平成30年度の活動計画(200~400字程度)

<主として環境に関わる活動>

- ・省エネ・省資源の取組み(全学年 通年)
- ・環境学習「自然に親しむ」(1・2年 生活科 1~2学期)
- ・環境学習「環境について考えよう」(4年 社会、総合的な学習の時間 1~2学期)
- ・「お山」の活用(全学年 通年)

<主として人との関わりに関する活動>

- 児童会活動・たて割り活動(全学年 通年)
- 地域じまん「たけのこの里」(3年 総合的な学習の時間 1学期)
- 地域に伝わる文化の伝承(4・5年 総合的な学習の時間)
- 福祉・共生を学ぶ(6年 総合的な学習の時間、金沢自主プラン)